

## 岡方地区に2つも石碑が建てられたすごい人！ 大久保正太郎

1858(安政5)年11月に生まれた大久保正太郎は、三条市中之島地区の中野中出身です。1880(明治13)年、新潟師範学校に入学し、1884(明治17)年5月の卒業と同時に平林校(岡方第一小学校の前身)に赴任しました。師範学校で正式な教育を修めた優秀な教員によって、地域の学校教育を盛んにしたいと考えたこの地域の有力者たちの要請があったためです。

3年後の1887(明治20)年5月、母の逝去などにより一時、三条高等小学校へ転任しました。しかし、10月に再び戻り、以後、岡方地区の学校に勤務し、60歳までの約35年間、精魂こめて地域の学校教育にあたりました。新しい教育内容や指導法を取り入れたり、他に先がけて女子の実用に役立つ裁縫を授業に取り入れたりしました。

1919(大正8)年4月、60歳で退職しました。12月には、正太郎を慕う門下生たちの発起で岡方第一小学校の校庭に正太郎をたたえる石碑が建てられました。

また灰塚に居住し、夜間は灰

塚の青年教育にも力を尽くしました。そのため、灰塚にも岡方村青年団灰塚支部によって建てられた石碑があります。

正太郎は、日頃から詩文を作り、筆を持ち、書に親しんでいました。「真澄」という雅号で多くの作品を残しています。1934(昭和9)年10月に制定された岡方第一小学校の校歌の作詞もしています。1937(昭和12)年に亡くなりましたが、今もその精神が地域に息づいています。



灰塚公民館となりの頌徳碑  
1924(大正13)年10月  
建立。正太郎をたたえた  
原宏平の和歌が刻まれて  
います。



頌徳碑(岡方第一小学校 校庭)  
1919(大正8)年12月建立。  
撰文は諸橋轍次、書は広橋足穂。

### MEMO

諸橋轍次(1883~1982)

三条市下田地区出身の漢学者。日本最大の漢和辞典『大漢和辞典』の著者。文化勲章受賞。

広橋足穂(1864~1943)

佐渡市小木地区出身の書家。明治・大正期の県下書道教育界の重鎮。

原宏平(1837~1923)

新発田市生まれ。一日千首の歌人として名声を知られています。新発田町初代町長。

『北区お宝ものがたり』は、博物館などで1冊800円で頒布しています